



堀田 力さん講演会『支えあいのある、あたたかい地域を』

八千代市地域支え合い体制づくり事業補助事業

地域に住む住民同士のつながりが弱くなったといわれて久しいですが、これからの社会を考えた時、お互いに支えあえるあたたかい社会づくりは重要なテーマです。東京地検特捜部検事や法務大臣官房長などを歴任し、現在、さわやか福祉財団理事長として活躍中の堀田力氏の話をお聞きし、これからの地域づくりと自らができることを一緒に考えてみましょう。業務のない方は、お誘い合わせでご参加ください。

開催日：12月8日（木）

時間：午後2時開場、2時30分～4時

場所：勝田台文化センター

参加費：無料

定員：先着350名

事前申し込みは不要です。

主催：NPO 法人ユーアイやちよ



清水 房さん100歳 おめでとうございます



9月19日敬老の日、ユーアイやちよの利用者さん、清水房さん（居宅支援・訪問介護）が八千代市在住の23年度100歳 高齢者として、豊田八千代市長より野田内閣総理大臣からのお祝いの賞状と記念品（銀杯）が、贈られました。

千葉県では、23年9月1日現在、100歳以上の高齢者が1,585人います。最高齢は、112歳で、八千代市に住んでいる方です。また、今年、千葉県内で100歳のお祝いを受けた人は825人（男130人・女695人）でした。

東日本大震災関連あれこれ

＜研修会参加報告＞

『訪問介護フォーラム2011』 訪問介護フォーラム実行委員会 10/30(土)

「ホームヘルパーの専門性」のなかの「災害時の訪問介護」というテーマの分科会に参加。3月11日、被災地ではないが、地震発生時における各訪問介護事業所での対応を聞き、当事業所での対応が適切だったか反省しました。他事業所の作成した緊急災害時の行動指針や助言者の松下さん(当会理事)からの対応策(下記)のまとめを基に、当事業所の緊急時対応マニュアルを、より具体的なものに修正し、従業員全員で確認していかなければと思いました。 賢賀節子

- ① 災害の種類のマニュアルが必要である(地震・集中豪雨・洪水)
 - ② 緊急連絡リストをつくる。事務所管理用(薬・連絡先2名・避難場所)
 - ③ 個人情報と利用者の関係(利用者の意識改革に、ヘルパーも努力)
 - ④ 命を守る声かけ対策(日ごろから良好な近所づきあい)
 - ⑤ 緊急時の連絡手段の必要から、優先順位を決めたマニュアル作り
 - ⑥ その他 逃げ道を作る。ドアを開ける(大きいバールが役立つ)
ガスを止める。何日分かの水、食料品のストックは?
- ◎ 街ぐるみで災害弱者となる利用者を守る事業所になる



★「命のカード」をつくりました

松下やえ子理事の被災地避難所訪問時の報告から“高齢者や疾患があり、日々服薬している人たちが、避難時に薬を持って逃げる余裕がなく、薬の名前が分からず、困った人がたくさんいた”という報告を聞き、このたび、ふれあいサロンスタッフで活動中の末次さんと山根さんは、「命のカード」づくりをし、村上のサロンと緑が丘長寿会の皆さんに提案、会員の皆さんに喜ばれました。この「命のカード」はA5判に、緊急連絡先、通院病院名、現在使用中の薬品名、などを記入、保険証入れの大きさのビニール袋に畳んで入れ、お財布に入ります。(作成日を記入し、変更時は内容の変更をお忘れなく。個人情報満載ですので、紛失には要注意)

＜被災地訪問の報告＞

8月13日から16日まで4日間、NPO法人全国コミュニティライフセンター(CLC)が募集した看護職・介護職等のボランティア募集に応募し、被災地の避難所でボランティア活動を行ってきました。私が派遣された石巻市の避難所「ビッグ・バン」は、すでに震災から5か月が経っていたため、十数の方が避難されているだけで、のんびりと活動していました。そんな中でも、被災されたおばあさんから話をお聞きしたり、被災した石巻港付近を見学させていただき、有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

現地の方の話は、方言が強く、非常に聞き取りにくく、他のボランティアの人たちは苦労していたようですが、私はある程度の想像を働かせて、しっかりと聞かせていただきました。その方は、震災で家族をなくすことはなかったそうですが、数年前に息子さんを海の仕事でなくしたそうです。だから、今回の震災で息子さんをなくして、震災後も息子さんのセーターを編み続けている人に、

「セーターを編んでももう着てくれる人はいないんだよ。悲しいけれど、しっかりと供養して、前を向いて生きなければならないよ」と言っているんだけどねと話されていました。

そうかと思うと、小学生と中学生の子ども二人を避難所に置いたまま、夜までパチンコで遊んでいる夫婦もいました。ボランティアをしたといっても、ほとんど力になれませんでした。いろいろな勉強をさせていただくことができました。

網干

★被災地訪問に参加しませんか

NPO ユーアイやちよとしての大震災対応予算を使って、福島県いわき市または、千葉県旭市飯岡町への、被災後仮設住宅に入居中の皆さんに、元気になって前向きになっていただけるような、“催し”を持って訪問してはどうかという機会を松下さん（城西国際大学准教授）がご提案下さいました。松下さんは大学として、震災後、継続的に被災地の人たちとの交流を続ける中で、受け身だった、被災地の方々が、生きるための生産的な思いを持っていけるような支援を、ずっと心掛けておられました。

当会としては単発的ではありませんし、“催し”の内容もまだ決まっていますが、年明けに訪問を計画しておりますので、皆さんのアイデア、提案をお待ちしております。また、日程が決まり次第、参加される方を募りたいと思います。

椎名

★第2回震災義捐金募金 257,330円を日本赤十字社へ！

利用者さんからの、多額のご寄付も含め、当会賛助会員、会員およびふれあいサロンの皆さまからの継続した暖かいご協力をいただき“NPO ユーアイやちよ有志”として9月末に振り込みました。

● 微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

片平 世津子さん

(1) ユーアイやちよに入会してどのくらい？

1年

(2) 好きな言葉は？

いつくしみ

(3) 仕事で心がけていることは？

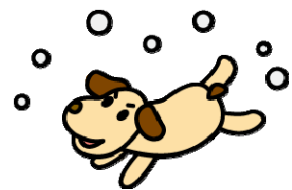
利用者さんの心の奥にあるものを気づくよう

(4) 利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は？

思い出はこれから積み重ねていくと思いますが、利用者さんの“ありがとう”の言葉に励まされています。

(5) 仕事以外で楽しいことは？

クラシックの音楽鑑賞と犬との散歩です。



次回は、岡村 順子さん に、お願いします。

★行事報告

- 8/9 指定障害者福祉サービス実地指導
- 8/23 「東日本大震災から学ぶ」八千代市介護サービス事業者協議会
- 9/15 介護サービスの公表調査
語らいパートナー定例勉強会
- 9/17 9月定例会
- 10/1~ 八千代台西事務所 居宅介護支援事業開設（再開）
- 10/15 10月定例会
- 10/18 スタッフ（責任者）あつまれ！八千代市事業者協議会
- 11/1 勝田台事務所 訪問介護事業開始
- 11/2~ 地域ささえ合い事業 「生活支援サポーター研修」スタート
- 11/2~ 介護職員基礎研修 訪問介護同行研修 4名（介護労働安定センター）
地域のインフォーマル資源 9名（川・ジョブシティカレッジ）
- 11/7 難病患者等ホームヘルパー養成研修（千葉県）
- 11/17 語らいパートナー定例勉強会
- 11/19 11月定例会
- 11/23 八千代市市民活動サポートセンター祭り 緑が丘イオン



☆行事予定

- 12/8 堀田力氏講演会「支えあいのある、あたたかい地域を」勝田台文化センター
- 12/17 12月定例会
- H24.1/11・18・25 生活支援サポーター専門研修「傾聴ボランティア講座」
- 1/21 新年会
- 2/18 2月定例会
- 3/17 3月定例会

編集後記

11月は、児童虐待防止推進月間でした。だからという訳ではないのですが、図書館で「児童養護施設の子どもたち」という本を読みました。本の中で、児童虐待の具体的な事例が詳しく書かれています。また、虐待を受けた子どもたちの様子が、心理的な面を含め詳しく書かれています。さらに、虐待をしてしまう親の苦しみや親の生い立ちなども書かれています。虐待を受けた子どもたちに寄り添うと共に、親のケアや教育の必要性も強く感じました。また、虐待を受けた子どもたちの心性を理解することのできる大人が増えることも非常に大切なことだと思います。そんなことで、機会があったら、ぜひご一読を！

網干

ユーアイやちよ の あゆみ
編集人 網干勝 発行人 桃井哲朗、椎名美代子